

3月立命館土曜講座
「日本の近現代と立命館」第4回

国際化時代と立命館

2007年3月24日

坂本和一

立命館百年史編纂室長
(立命館大学経済学部教授)

講師自己紹介

- ・経済学部教授－専門は、現代企業戦略論
- ・1994年4月～2004年3月 立命館副総長
- ・1997年より立命館アジア太平洋大学（APU）の創設に関わる。
- ・2000年4月～2003年3月：立命館アジア太平洋大学初代学長
- ・現在、立命館大学大学評価委員会委員長、立命館百年史編纂室長

本日、お話すること

- ・1980年代、90年代、そして今日に至る間の立命館の変化・発展と、社会に果たしてきた役割について。
- ・立命館の創立は、1900年(明治33年)
- ・1980年、学園創立80周年記念
- ・2000年、学園創立100周年・立命館アジア太平洋大学開学記念

・この間の社会の変動

人類史上の画期的社会変動の時代

1. 国際化とアジア太平洋時代の到来
2. 「情報化社会」・「知識社会」の到来
3. 「冷戦」の終わりと、新しい世界平和の課題

4 . 地球環境問題の浮上 : 地球温暖化

5 . 日本経済 : バブル景気から「失われた10年」へ

6 . 少子・高齢化社会を迎えた日本社会

7 . 18歳人口減少と大学

・ 1980年代から21世紀へ この間の立命館の変化

- (1) 1大学、1高校・中学校から
2大学、4高校・中学校、1小学校へ
- (2) 大学キャンパス
衣笠1キャンパスから
三大キャンパスへ(衣笠、BKC、APU)
- (3) 2大学合わせて
11学部、15大学院(研究科)
12研究所・研究センター

(4) 学生・院生数

21,500名(1980年)

約41,000名(2大学:2006年度)

(5) 女子学生数(立命館大学)

2,098名(1980年)

11,649名(2006年度):32.2%

(6) 留学生数(2006年度)

約3,000名:日本最大

立命館大学: 35カ国・地域 800名

立命館アジア太平洋大学:

74カ国・地域 2,160名

(7) 付属校生徒数

1,350名(1980年)

約6,000名(4付属校:2006年度)

(8) 教職員数(1980年 2006年度)

専任大学教員: 350名 約1,400名

付属校教員: 58名 373名

専任職員: 315名 570名

(9) 外国の大学・諸機関との交流協定数

200年度末現在、

51カ国・地域・272大学・諸機関

中国、台湾 71

アジア(除。中国・台湾) 75

欧州 56

北米 37

中南米 15

大洋州 11

アフリカ 2

その他 5

・学園創造：立命館の視点

(1) 社会変動への積極的対応

社会動向を先取りする学園創造

(2) 社会連携のなかでの学園創造：3つの連携

産官学連携

地域・大学連携

国際連携

(3) 教職協力、学生との協力

(4) 私学に徹した学園創造 多様性と活力

(5) 財政基盤の強化

. 1980年代の立命館

- 1 . 衣笠一拠点実現 1981年3月
- 2 . 国際関係学部開設 1988年4月
- 3 . 情報工学科開設 1987年4月
- 4 . 立命館高等学校・中学校深草移転と男女
共学化 1988年夏

. 1990年代の立命館

- 1 . びわこくさつキャンパス (B K C) 開設・
理工学部拡充移転 1994年4月
- 2 . 政策科学部開設 (1994年4月)
- 3 . 経済・経営二学部BKC移転・新展開
1998年4月
- 4 . 大分県別府で、立命館アジア太平洋大学
(A P U) 開設 2000年4月
- 5 . 法人合併で、立命館宇治高等学校 (1994
年)、立命館慶祥高等学校 (1996年)

. 21世紀を迎えて

- 1 . 相次ぐ独立大学院の開設 (応用人間、先端
学術、言語教育情報、法務、テクノロジー・マ
ネジメント、経営管理、公務) 2001年以降
- 2 . 情報理工学部開設 2004年4月
- 3 . 立命館小学校開設 2006年4月
- 4 . 立命館守山高等学校開設 2006年4月
- 5 . 映像学部 2007年4月
- 6 . 生命科学部・薬学部 2008年4月(予定)

・4大事業

- 1 . BKC開設 理工学部拡充移転 経
済・経営二学部移転・新展開
- 2 . 立命館アジア太平洋大学 (A P U) 開設
- 3 . 付属校 (高校・中学校) 複数化
- 4 . 立命館小学校開設



びわこくさつキャンパス(BKC)

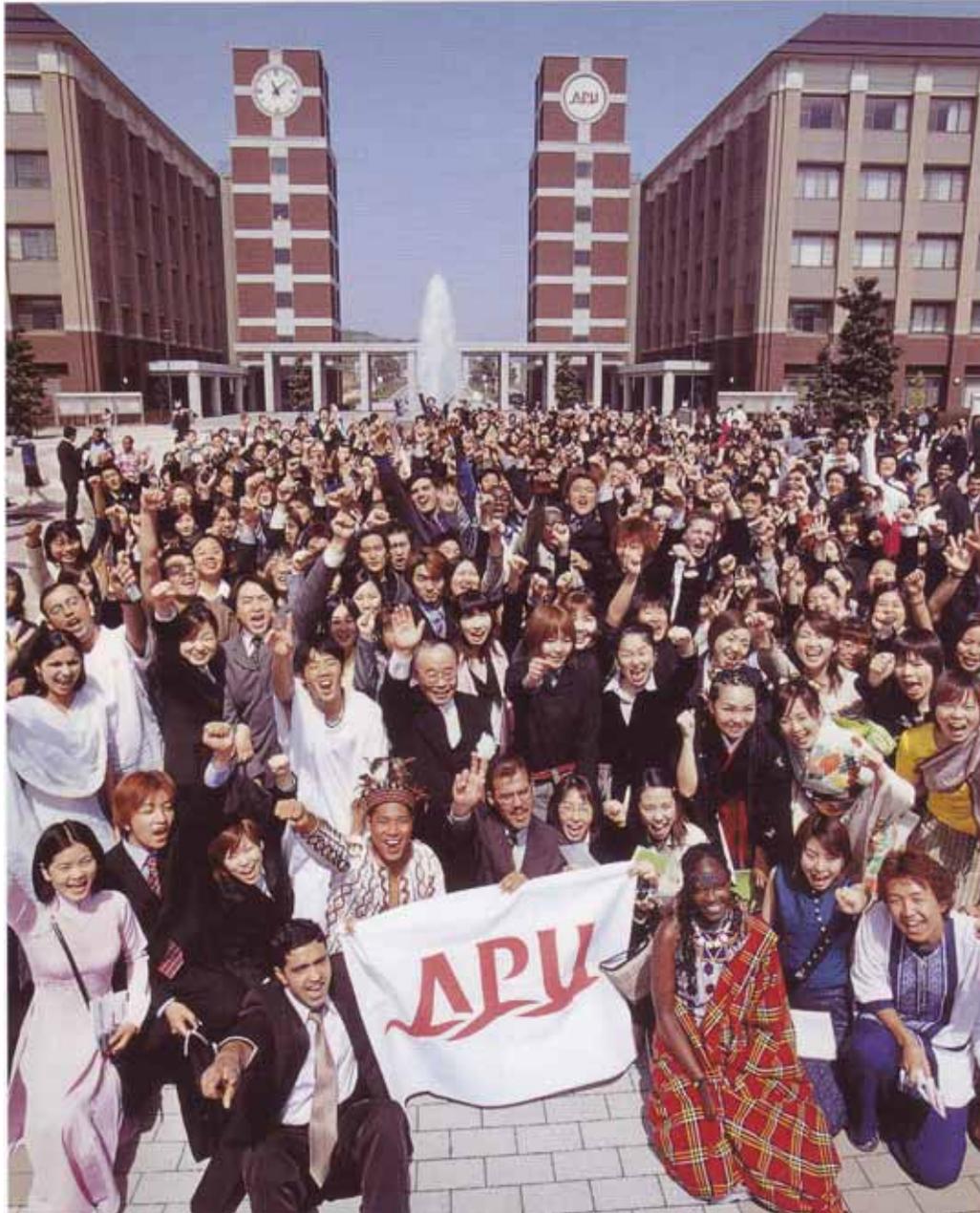


びわこくさつキャンパス(BKC)



APUキャンパス

APU入学式





APUキャンパス



立命館小学校



立命館小学校

・ B K C 開設・理工拡充移転

1. 新キャンパス開設の発想はどうして生まれたか。
 - (1) 理工学部を「財政的に自立」したものにしよう。 社会系学部依存からの脱却。
 - (2) 財政自立のためには、学部規模の倍増が必要。 5,000名規模の理工学部を。
 - (3) 衣笠キャンパスでは不可能 新キャンパスへ。

2. なぜ、新キャンパスは滋賀県草津・びわこくさつキャンパス(BKC)となったか。

- (1) 土地調達に多額の投資は不可能 「公私協力」が前提
- (2) 滋賀県の誘致 整地済み土地(約60万平方メートル)の無償提供

・BKC新展開－経済・経営移転

なぜ、経済・経営2学部をBKCに移転したのか。

(1)これからは「文理融合の時代」

理工 + 経済・経営

「日本のMIT(合衆国)をめざす！」

文理総合インスティテュート

(2)「産官学連携」、「地域・大学連携」の全国モデルに

(3)衣笠キャンパスにゆとりを 衣笠新展開

. APU創設

1. APUは、どんな大学か。

(1) わが国初の本格的国際大学

- ・学生の半数を留学生

- ・英語・日本語2言語併用の教育システム

 - 英語にもとづく一貫したカリキュラム体系

(2) 日本の「留学生受入れモデル」の転換

留学生出身地: 東北アジア(中・韓・台)から、全世界に(世界74カ国・地域から)

(3) 全立命館の国際化へのインパクト 日本の大学トップの国際化資源

(4) 学生定員確保にかけた思い

- ・ 学生半数(50%)を留学生で
- ・ 1学年定員800名確保

留学生1学年400名

学生数抑制下での、文部省との
厳しいやり取り

(5) 留学生毎年400名にかけた思い

- ・ 文部省から迫られた留学生毎年400名
確保の確証
- ・ 学生推薦協定400校戦略
- ・ 教職員チームが世界各地の有力高校に
20カ国約700校を巡る
約250校と推薦協定(申請時まで)
- ・ 学生推薦数、400名をはるかに超える。

2. なぜ、APUは九州大分県別府にあるのか。

(1) 大分県から、国際大学誘致

(2) BKCを上回る「公私協力」実現

- ・土地(42万平方メートル)無償提供
- ・施設・設備建設への大型援助

3. なぜ、APUは新しい大学なのに世界的評価が高いのか。

(1) 国内外の著名人(経済人、政界人、文化人、学者など)が支援 アドバイザリ・コミティー

(2) 日本経済界の支援

- ・留学生への奨学金
- ・卒業生の良好な就職

4 . A P U の使命は何か。

(1) 自由・平和・ヒューマニズム

(2) 国際相互理解

(3) アジア太平洋の未来創造

XI . BKC,APU に共通の挑戦

(1) 京都(大都市)から離れた

新キャンパス構築

(2) 「大学の大都市志向」への挑戦

(3) 「既成都市に依拠した大学づくり」から
「大学がまちをつくる。

大学づくりが、まちづくり」へ

草津市(南草津)、別府市への貢献

XII.立命館改革が提起したものの

- (1) 私学の役割、私学の改革力を社会に示す
- (2) 学園運営の制度と体制のあり方
- (3) 教職協働の改革力
- (4) 改革論議への学生の参加と成長
- (5) 社会的ネットワークの中での学園創造
- (6) 国際化・国際連携の先駆的展開

XIII. これからの立命館改革

1. 自らを革新し続ける立命館

自ら未来を創造する、先駆の精神

2. 精神的支柱としての「立命館憲章」

精神的伝統の継承

・自由と清新

・平和と民主主義

・全構成員協力による学園創造、など



孟子像(朱雀キャンパス)